

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先： report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年1月12日

派遣決定番号

報告回次 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	島根県			代表者名	丸山 達也
担当者部署	地域振興部市町村課			連絡先電話番号	0852-22-5589
担当者役職	主任主事	担当者氏名	小村 慶	連絡先E-mail	
住所	690-8501 島根県松江市殿町1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようになどころがよかったです等詳細に）	1月31日に実施する勉強会の打ち合わせであったが、当県と類似の課題を抱えている北海道の取組をご紹介いただき、県内市町村へシステム標準化の意義を強調していただくことに期待ができた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き勉強会本番でのご対応もお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年1月10日	支援・助言	有	令和5年1月11日	494
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年1月6日	支援・助言	14時15分	15時00分	0
					活動時間（分）
					45

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	自治体DXの推進にあたり、推進担当課の認識だけでなく、各担当課の意識醸成が必要になってくるが、現状では、まだ各担当課での自治体DXに関する認識が浸透していない状況である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	自治体DX推進担当課だけでなく、各20基幹業務所管課へも共通認識を持っていただき、今回の法改正に伴うシステムの導入に併せて業務フローも適切に見直していただきたいと考えている。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・勉強会の事前打ち合わせ ・勉強会に向けて、北海道庁での取組等のご紹介	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後、勉強会を実施するにあたり、市町村において実施していただきたいシステム標準化に係る業務フローの見直しについて、認識が共有できた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 講演資料	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	特にありません(アンケートは1月31日の勉強会で実施予定)。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	令和7年度のシステム標準化の対応期限に向けて市町村が円滑に対応できるよう支援していく。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。

なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



